



江南の子

令和5年度
第10号

私たちにできること

校長 藤塚 静治

1月1日に発生した令和6年能登半島地震により犠牲になられた方に、深く哀悼の意を表するとともに、被災された方に心よりお見舞い申し上げます。

江南小学校では、冬休み明けの1月9日に、登校の様子を通学路にて見守る職員と、教室にて学年の児童を迎える職員と分担して、子どもたちを迎えました。地震によって生じた不安が子どもたちにどの程度影響しているのか案じてのことです。現在に至るまで、学校生活における子ども一人一人の表情や会話、行動から、顕著に不安を感じている様子はありません。これもおうちの方のおかげと感謝するとともに、引き続き温かなお声掛けをよろしくお願いいたします。

冬休み明けの全校朝会も、子どもたちに地震について話しました。話し始めると、広い体育館の中で私に聞こえるように知っていることや経験したことをつぶやく子どもがいました。大きな出来事として受け止めている子どもたちがたくさん、いやきっと全員がそうなのだと感じました。

伝えたことは右の4つです。特に、4つ目は、前述したおうちの方の温かなお声掛けとともに、地域の方が通学路にて見守ってくださっているありがたさに感謝しようと伝えました。

私たちにできること

- ・気持ちを分かろうとする。
- ・負けない頑張りをする。
- ・(日頃から)より安全に過ごす。
- ・ありがたさに感謝する。

発災当時、津波避難ビルの当校校舎に避難された皆さんに対して、災害対応について日頃から検討している地域のご担当の方が迅速に対応されていたと聞きました。それを知り、子どもに関してできることはないかを見直しました。そして、震度によって日中の学校の動きと保護者への協力依頼を明確にしようと考えました。重要な点を右に記載しましたが、各家庭におかれましては、月末に配付予定の地震発生時の対応についてを改めてご確認ください。

令和6年も当校教育活動への変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

東区震度
5以上

○教育活動を中止し地震対応避難行動を実施。
・ **児童引き渡しによる下校**を実施。保護者の迎えがあるまで、児童は学校にて待機。

新潟市東区が震度5以上の場合は、学校からの連絡がなくてもお迎えをお願いします。

※ 津波警報・大津波警報が発令された場合、校舎が津波避難ビルになるため、児童はそのまま学校に留め置きます。

思い出のアルバム ～全校書き初め展～

辰年を迎え、新たな気持ちで新年のスタートを切った江南小学校の子どもたち。そんな新年初めの大きな行事が『全校書き初め展』です。この日に向けて、1, 2年生は硬筆、3年生以上は毛筆の練習を冬休み前から頑張ってきました。冬休み中、家庭で練習を重ねることで、冬休み明けの子どもたちの字は、大きく、堂々とした立派なものになっており、『さすが江南の子!』と思わせてくれました。全校書き初め展は終了しましたが、ぜひご家庭でも子どもたちの頑張りや成長に大きな拍手を送ってほしいと思います。



年明けに学級ごとに行われた書き初め大会の様子です。正月らしいBGMが流れる中、子どもたちは集中して書に向き合っていました。



ご指導してくださった柳澤先生からお手紙をもらいました。



江南小学校の皆さん、今年も習字を通し本来に素直な時間をありがとうございました。

六年生の皆さん
さすが最高学年集めて取り組む姿勢に感動しました。中学まで輝いて下さいませ。

五年生の皆さん
教えることも実行できる姿に感動しました。みんなが育ったお米をいただき、私は涙が出ました。

四年生の皆さん
初の漢字三文字に、ものめりわらず熱心に話を聞いてくれて、ありがたうございます。

二年生のみなさん
らんねんくらいわん 念えものを 楽しみみにしています。

校長先生をはじめの先生方、ホラニ先生の皆様、様々な協力ありがとうございました。素直な時間を共に過ごすことが、心より感謝申し上げます。
柳澤真琴

ついに江南小学校にも大谷選手からグローブが届きました。メッセーじとともに玄関に展示してあります。

